

現況分析における顕著な変化についての説明書(教育/研究)

法人名 九州大学

学部・研究科等名 経済学部・経済学研究院

1. 分析項目名又は
2. 質の向上度の事例名

事例3 「外国語論文奨励制度」

2. 上記1における顕著な変化の状況及びその理由

「外国語論文奨励制度」は国立大学の独立行政法人化を踏まえ、研究成果を特に海外に向けて発信して研究面での国際交流を促進し、もって研究水準を高めるという目的に資するために経済学研究院独自の制度として平成18年度に導入された。この制度では、①外国語で発行されているジャーナルに、②レフェリーによる査読付き論文として受理されるという条件を満たした教員に対して、一定額の研究費が補助される。経済学研究院では教育研究評議員、部門長を中心に研究評価委員会を構成し、研究所属教員の申請が上の要件を満たしているかどうかを確認し、評価を行っている。

平成20年度、平成21年度において本研究院教員が公表した学術論文のうち、この制度に該当したものは別紙にリストアップした10件である。これらの中には、レオンチェフ記念賞に採択されたものをさらに発展、修正したもの(番号4)、環境分野の権威あるジャーナルに掲載されるとともに幾つかの雑誌等で紹介され、引用されたもの(番号7)、先端的デリバティブの研究(番号9、10)、先端的時系列分析を進めたもの(番号1、2、3)などが含まれている。これらが掲載されたジャーナルは、*Journal of Time Series Analysis*, *Economic System Research*(*Journal of International Input-Output Association*), *Structural Change and Economic Dynamics*, *Asia-Pacific Financial Market*, *Environmental Science & Technology*, *Journal of Forecasting*, *Review of Derivation Research*, *Applied Mathematical Finance*, *Journal of Time Series Analysis* 等、経済時系列分析、ファイナンス、産業連関分析の経済分析の分野における著名なものやインパクトファクターの高いものであり、特に優れた研究の成果であると判断できる。